

# 第46回北信越中学校バドミントン大会 代表者会議申し合わせ事項

別紙「連絡事項」の内容もよく読んでおくこと。

1. 本大会は、北信越中学校体育連盟が定めた実施要項及び現行（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程に準じて行う。その他は代表者会議（各県専門委員長会議）の決定による。
2. 開会式は行わず、簡略化した開始式のみ行う。
3. 「団体戦選手変更届 監督・マネージャー・外部指導者（コーチ）変更届」および「個人戦における監督・外部指導者（コーチ）変更届」については、5日（火）監督会議の開始時に書面によって大会事務局に申し出て、監督会議の承認を得なければならない。
4. 競技エリア（1階アリーナ）に入れるのはIDがある者のみとする。ただし、写真撮影の業者もビブスや腕章をつけて入ることがある。
5. 団体戦でベンチに入れるのはエントリーされた選手、監督、マネージャーまたはコーチとする。
6. 個人戦でコーチ席に入れるのは、監督、コーチ・マネージャー、IDを持った生徒の中から2名までとする。ただし、監督が優先してコーチ席に入ること。
7. 競技用ウェアは、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。また、表彰・入退場・あいさつの際には、上衣の裾は下衣の中に入れること。
8. ベンチまたはコーチ席に入る時の服装（監督・コーチ）は、公認審判員規程5条第12項（8）に従い、マッチ（試合）にふさわしい服装で臨むこと。マネージャー（生徒）の服装もこれに準じる。また選手がコーチ席に座る場合もこれに準じる。
9. 試合前の公式練習は初回戦のみ行い、あいさつ後団体戦は3分間以内ずつ、番号の若いチームから行う。個人戦については同時に3分間以内行う。個人戦シングルスは対戦相手同士で行う。その際、個人戦のみシャトルを1個、本部より出す。
10. 団体戦の試合は複1・単・複2の順とし、すべて2点先取（試合）方式で行う。マッチを並行して行った場合、オーダーの順番に関わりなく、マッチの終了順で団体戦の勝敗を決定できる。残りのマッチは打ち切りとする。
11. 団体戦は試合の進行状況により、2コート開いて行うことがある。ただし、準決勝、決勝は最初から2コート開いて行う。その際、進行の都合上、コートを縦に開く場合がある。
12. サービス高測定器でのサービス高の測定は、団体戦・個人戦とも準決勝から行う。
13. 団体、個人戦ともに1、2回戦はコートを指定せず、試合番号順に流し込みで試合を入れる。
14. 個人戦において、同一選手が連続して試合を行う場合は10分間空ける。

15. 試合の進行については主審の指示に従うこと。シャトルの交換やタオルの使用、水分補給の場合は主審に申し出る。モップを要請する場合も同じとする。主審が認めたこと以外での試合の中断は認めない。
16. 水分補給はスクイズボトル等を使用する。ただし、フロアに水滴が落ちることのないように、カバンに入れたり、タオルを巻いたりなどの配慮をすること。ペットボトルの使用は禁止する。
17. 試合に必要な荷物（選手 I D、交換用ラケット、着替え用ウェア、タオル、スクイズボトル等）はバッグに入れ、コート脇（主審の横）に置く。ただし、ラケットはバッグから出しておく。
18. ベンチの椅子の下に入るような小型のクーラーバッグは、ベンチまでの持ち込みは認める。シューズの滑り止めも同様とし、コート横には置かない。
19. 試合中のケガや病気や事故が起こった時、テーピング治療など、外傷、けいれんなどのはっきり分かるもので、主審に申し出て許可を受けた後、コート近辺で最大 5 分以内、1 回限り認める。（2 回目からは試合続行不能とみなす。）
20. 鼻血によるマッチの中断は、基本的に 10 分とする。止まらない場合は救護員の判断による。
21. 試合が早まる場合は、原則として各回戦の最終試合終了後 15 分で次の回戦を行う。
22. 使用シャトルの銘柄は次の通りとし、番号は室温に合ったものとする。（第 1 種検定合格品）
  - ・使用シャトル YONEX ニューオフィシャル
23. 防汗や整髪のためにはちまきの使用を認めるが、体裁よく結ぶこと。インナーについては、露出する場合は、審査合格品とする。
24. 上衣の背中中央部には、縦 20 cm、横 30 cm の範囲内とした白布にチーム名及び姓の表示を日本文字（楷書）で明記する。同姓の場合は名前の一文字目を小さく入れること。また文字の大きさは高さ 6 cm～10 cm とする。
25. 写真撮影は、フラッシュの使用を厳禁とする。写真や動画など撮影したもので他チームの選手等第三者が映っている場合は、SNS にアップしないなど肖像権に十分配慮をする。撮影したデータについては各自で責任をもって扱う。
26. 応援等については、日本中学校体育連盟バドミントン競技部ホームページに掲載されている『全国中学校バドミントン大会並びに全日本中学生バドミントン選手権における【応援及び競技中の選手の声出し等】について』に準じて、節度をもって行う。
27. 鳴り物としてのうちわを使つての応援は禁止する。ハンディファンのフロアへの持ち込みを禁止する。
28. プログラムに誤字、脱字等訂正があれば、受付時に配布する書面にて監督会議前に申し出る。
29. 観覧席にあるコンセントは使用しない。